

秋竹小

メル・ポケ通信 2019年7月号

(メルヘン ポケット)



7月9日(火)に、全学年を対象に、今年度3回目の“読み聞かせ”を行いました。

今回読んだ本をご紹介します。

1・2年生 ★『ぼく、あめふりお』

大森 裕子(作・絵)

教育画劇

てるてるぼうずなのに、ぼくのいくところはいつも雨、雨、雨。しとしと雨の日は、あなたの街に「あめふりお」がやってきているのかもしれません。雨の日がちょっと待ち遠しくなるかわいい絵本です。

★『バナナじけん』

高島 那生(作・絵)

BL 出版

くるまから、バナナがひとつ落ちました。そこへさるがきてバナナをはっけん! どう思うと思う? もちろん、パクッ! そして皮をポイッ! すると、そのあと…。どうなるのかな?

★『ガスパールうみへいく』

アン・グットマン(作)

石津 ちひろ(訳)

ゲオルグ・ハレンスレーベン(絵) ブロンズ新社

パパとママにいっしょうけんめいお願いして海のがっこうでウィンドサーフィンを習わせてもらうことになったガスパール。でもほんとうは泳げなくて…。

★『とけいのほん①』

まつい のりこ(作・絵)

福音館書店

どんぐりぼうやと時計の針が、仲良く遊びながら「いま、なんじ?」楽しく読みすすんでいくうちに時計の読み方をわかりやすく考えてくれる絵本です。

3年生

★『ぶたくんと100ぴきのおおかみ』

宮西 達也(作・絵)

鈴木出版

100ぴきのおおかみにすっかりとりかこまれてしまった、たった1匹のぶたくん。果たして無事に脱出できるでしょうか。

★『モットしゃちょうとモリバーバのもり』

藤 真知子(作)

こば ようこ(絵) ポプラ社

森を切りひらき手に入れた便利なくらし。でもそれが本当の幸せなのでしょうか。環境について考える絵本です。

★『ぼくはおこった』

ハーウィン・オラム(作)

きたむら さとし(絵・訳)

評論社

「もうおそいからねなさい」お母さんの言葉に怒ったアーサー。すると、雷がなり嵐がきて町が…。まだ、怒っていると地球がわれ、月も星も…。

4年生 ★『じぶんだけのいろ』 レオ・レオニ（作・絵） 谷川 俊太郎（訳） 好学社
カメレオンは自分の色をもてないことを嘆いていましたがあるとき、もういっぴきのカメレオンに出会い悲しみを共有します。二匹は一緒に暮らすことにして一緒に緑になり、紫になり黄色になり…。二人で一緒なら周りがどんなに変わってもいつも同じでいられる。そんな単純で本質的なことを気づかせてくれます。

★『ありとすいか』 たむら しげる（作・絵） ポプラ社
ある夏の午後、すいかを見つけたありたちは巣に運ぼうとしてみんなで力を合わせて押しますがびくともしません。そこで…。

★『とんでもない』 鈴木 のりたけ（作・絵） アリス館
他の人の立場になって自分から見えない部分、知らない部分を思い描いています。

5・6年生 ★『しにがみさん』 野村 たかあき（作・絵） 教育画劇
死神は、金がなくて困っている若い父親を助ける。ところが…。

★『みずいろのこびん』 わだ ことみ（作） 大井 淳子（絵） 岩崎書店
ぼくの心の中にはみずいろのこびんがある…。友達や母さんにいえないことを全てこびんに詰め込んでぼくはみんなの好かれるような言動ばかりしてしまう。

